

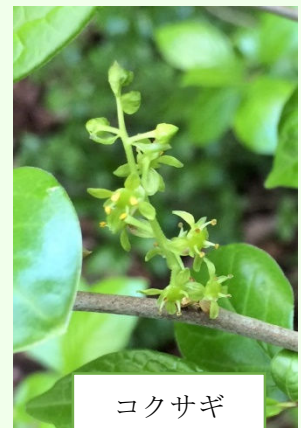
活動分野	森に親しむ野外講座 県外第六回		
タイトル	大磯丘陵と高麗山の森を歩く		
実施日時	平成31年3月26日(火) 7時15分~19時20分		
実施場所	神奈川県大磯町		
受講者	会員34名	FIC会員	6名

活動の内容

前回平成24年の3月に実施以来、2度目の企画です。早春の大磯丘陵の山歩き、主眼はモクレイシの花と実を実際に見てみようという企画です。行きがけのバスでは、まずモクレイシの命名の由来について説明しました。中華料理に出てくるライチ、この漢字を日本ではレイシと読みます。ライチの種がニガウリの種に似るということで、ニガウリ=ツルレイシ、そのニガウリの種に似て、木になる実というのでモクレイシとなった



のだそうです。名前の印象は良くありませんが、実際の種は何ともかわいらしい感じで、一見の価値あります。バスで辰巳JCTのあたりを通過する頃から小雨になり、途中道路工事等もあり、目的地の厳島神社に到着したのは、大幅遅延で早く散策に出発したいところでしたが、山道が小雨で転倒しやすい状況が予想されたので、柔軟体操は入念に実施しました。4班に分かれてまずは鷹取山目指して出発です。モクレイシも大切でしたが、アオキ、キブシ、コクサギ、ヒサカキ等の雄花、雌花、両性花など、一見地味な花ですが、それぞれの植物が種の存続を願って、必死に花を咲かせている姿を見るのは楽しい経験でした。さて、肝心のモクレイシですが、ありました！ 話には



コクサギ

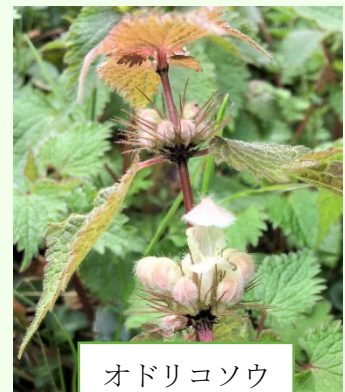
聞いていても、実際に見ると皆さんとても感動して、それぞれ、カメラに納めました。そうするうちに、雨もどうやら上がって、鷹取山を下り、湘南平で昼食です。湘南平では、かすかではありましたが、富士のお山を遠望することができました。思



モクレイシ 実と花



いがけなく、オドリコソウにも出会えました。八俣山を下りる坂道の途中では、常緑樹に囲まれながらもしっかりと樹冠を確保し、花を咲かせているヤマザクラに出会いました。折から青空が広がり、サクラの白い花びらの向こうに見える青空、メジロ、ヤマガラ等が飛び交う姿にしばし見とれました。「ヤマザクラがこんなに綺麗だったとは、良い思い出になりました」との嬉しい感想をいただきました。午前中、小雨ではありましたが、全員無事で楽しい散策ができた1日でした。



オドリコソウ